

2026 年 10 月 20 日

日野市長
古賀 壮志 様

日野・生活者ネットワーク
代表 出沼 恵美子

2027年度日野市予算編成にあたっての要望

日頃より市長はじめ職員の皆様には、市民のために御尽力頂き感謝申し上げます。また、私たちの活動にご理解いただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

日野・生活者ネットワークは、結成当時から変わらず、まちづくりに市民の声を反映させ、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちにしたいと、暮らしの中にあるさまざまな問題の中から政策提言し、その実現に向けて活動しております。提案しつづけてきたことが、一つずつ実現されていることには、感謝しております。

私たちの日頃の活動を通じてみえてきた課題や、市民の皆さんからの声を踏まえ、次年度への予算要望として提出させていただきます。2026 年の市議選において市民の皆さんに提示した政策にそってまとめました。

別紙の予算要望項目をご検討頂き、来年度予算に反映していただきますようお願い申し上げます。尚、お手数をおかけいたしますが、文書にてご回答くださいますよう併せてお願い申し上げます。

以上

2027年度（令和9年度）日野市予算要望項目

日野・生活者ネットワーク

1.SOSが届くまち 一声をあげやすく、声にならない声にも気づけるように

- 1) 物価高の中、学びの環境の格差拡大を懸念します。高校奨学金申請者の大幅増が報じられる中、日野市は高校生奨学金制度を廃止しました。各種支援制度につなげる丁寧な相談体制、ほっともや地域で子どもの学びを支える市民活動への支援を拡充するとともに、市独自の奨学金制度についても再検討を求めます。
- 2) ひとり親セミナーはオンライン開催も視野に、共同親権について理解を深めることができる機会を設けてください。また、養育費確保の相談支援体制を強化してください。
- 3) 子どもの権利について大人が理解を深めることにつながるよう、QA方式などわかりやすく伝える工夫を子ども条例委員会で検討し、実施してください。
- 4) プレーパークを学校に設置する東京都の支援事業（子どもの未来を育む「体験活動・遊びの推進」）を活用し、子どもが遊びに夢中になれる環境をつくってください。
- 5) 大人には生理休暇がありますが、子どもにはありません。公立小中学校において生理痛で欠席する場合は、欠席扱いにしないよう検討をすすめてください。
- 6) 地域で温かい眼差しに見守られながら安心して子育てができるよう「WE♡赤ちゃんプロジェクト」の賛同自治体になるなど、啓発活動を展開してください。
- 7) 障がい、高齢ともに認定を受けているひとの家族を対象に、ケアラーの実態把握のための調査を実施し、支援策につなぐとともに、ケアラー支援条例の制定を目指してください。
- 8) 健康課の多様なオリジナルキャラクターを活かし、「香りが苦手です」「電磁波に弱いです」等伝えにくいメッセージを伝えるヘルプマーク集を、市のHPからダウンロードできるようにしてください。
- 9) 「その香り 困っている人もいます」の啓発ポスター（消費者庁、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省で作成）を全小中学校や公共施設で掲示し、駅でも掲示してもらえるよう呼びかけてください。

2.食とエネルギーの地産地消を —もったいない!地域の恵みは地域で活かし、循環させていこう—

- 1) 学校給食の残渣を搬入してつくられる堆肥は、学校給食に搬入している農業者で希望される方には提供する循環の仕組みをつくり、農業者の応援につなげてください。

- 2) 都市農業を継続していくためには、市民の理解と応援が欠かせません。市民農園、公民館事業の田んぼの学校、新たに立ち上がった東京の田んぼ復活プロジェクト事業など、市民が農業を身近に感じ、体験し、理解を深めることができる取り組みの情報発信や支援を強化してください。
- 3) 避難所となる公共施設で太陽光パネルが未設置のところには、東京都の事業（自治体の避難施設に Air ソーラー導入経費 3/4 助成など）を活用し、設置をすすめてください。
- 4) ソーラーシェアリングを広めるためには、成功事例が身近にあることがカギと考えます。モデル事業に協力してくれる農業者を募り、市内での活用の好事例をつくってください。
- 5) 断熱改修した校舎の断熱効果を測定し、データを示してください。また、公共施設 ZEB 化に向けて、長期的な費用対効果のシュミレーションを示し、具体的に導入を進めてください。
- 6) 市全体で実質再生可能エネルギー電気の利用をすすめるため、まずは実態を把握する方法を検討し、目標を設置し、到達まで実質再生可能エネルギー電気への切り替え支援金を継続してください。
- 7) 広域で展開している気候 YOUTH 会議を継続し、日野市の環境フェアにも出展を呼びかけてください。

3. グリーンインフラを活かすまち —緑と清流のまちだから。自然の力を最大限に生かし、防災にもつなげよう—

- 1) 雨水タンク設置により、大雨の際に雨水を一時的に貯留し、後日庭にまくことで時差浸透に効果があります。市内全域が望ましいですが、せめて雨水貯留施設の設置に努める区域においては、設置をすすめるための補助制度を創設してください。
- 2) 水はけの悪い公園や校庭、雨水がたまりやすい道路付近に雨庭の設置をすすめるために、まずはモデル事業を実施し、効果を検証してください。また、雨が降った際の水の流れ（水路）を学ぶ機会を地域ごとに開催し、防災につなげてください。
- 3) みどりと基本計画の策定にあたっては、市民活動団体に加え、気候市民会議のように無作為抽出による市民参加枠も設け、自分ごととして考える市民の輪を広めてください。また植樹に関しても、計画の中で方向性を位置付けてください。
- 4) 大雨に備え、側溝の落ち葉の詰まりやすいところの日頃の点検など、道路、水路、みどりをまとめてパトロールできる仕組みについても検討ください。
- 5) ソーラークッカーの調理会や、防災イベントでの活用する機会を増やせるよう、防災対策と環境教育の両面で、市内の小中学校にソーラークッカーを導入してください。
- 6) 防災会議は公開し、地域防災会や自主防災会等の市民が気軽に傍聴できるよう開かれた場としてください。

4. じっくり対話で市民自治 ―政治は生活をよくする道具!大事なことは市民が決めよう―

- 1) 地域共創プラットフォーム等を活用し、市民参加型予算を実施してください。
- 2) 投票率の向上に向け、「こども選挙」の取り組みなど主権者教育の方法を研究してください。
- 3) 日野地域未来総合戦略ができました。市立病院、区画整理、公共施設や公共交通など、市民に日野市のいまとこれからを共に考える場をつくってください。

その他

- 1) ウォーキングアプリ×ごみ拾い(「ピリカ」とのタイアップなど)でポイントアップなどの仕組みを検討してください。また一人でもごみ拾いがしやすいよう、ボランティア袋の配布場所では小サイズも配布してください。
- 2) 陶器や入れ歯の分別回収や、コンタクトレンズケースのように民間の容器回収の取り組みをさらに広めてください。
- 3) 「服の交換会」を定期的の実施できるよう、実行委員会を募り、会場を提供してください。また、中学校入学前に制服や体操着等のリユース品が入手できる仕組みについて、検討をお願いします。
- 4) 環境学習については、西の(カワセミ)ハウス、東の(石田環境)プラザとなるよう、石田環境プラザにおいては、一般開放とは別の枠組みで利用できるよう拡充の仕組みを検討願います。
- 5) ごみの3Rの取り組みについて、取り組むことによってどのような変化(どの程度のCO2排出および経費削減につながるのかデータ等)を示しながらわかりやすく、具体的な取り組み事例とともにごみカレンダー等で啓発してほしいです。